

君津市社会教育施設の再整備基本計画概要版（素案）

コンセプト

「人・地域・君津が輝く、地域活性化ステーションの効率的な再整備」

市民の課題解決に役立ち、地域に活力を生み出す社会教育施設を、校舎転用など効率的な方法で再整備し、運営、機能展開の工夫により継続・発展させる。

1 スケジュール：2025年度末を完了目途に、おおむね7年間で段階的に再整備を進める

		平成30年度 2018年度	2019年度	2025年度
基本計画				
第1期プラン	○清和公民館の再整備			
	○図書館サービス網の再構築／博物館機能の展開（第1期分）			
第2期プラン	○周南公民館・小糸公民館・小櫃公民館の再整備			
	○図書館サービス網の再構築／博物館機能の展開（第2期分）			
	○分館制度の見直し			
	○漁業資料館の見直し			
個別施設計画の策定	○全社会教育施設の長寿命化等に関する個別施設計画策定			

2 各社会教育施設の再整備の内容

（1）人と地域をつなぐステーションとしての公民館機能の継続

- ・周南、小糸、清和、小櫃公民館は、校舎転用、複合化等の効率的な方法による再整備で、老朽化等の課題を解決し、地域拠点として公民館の8地域への配置を継続する。
- ・地域との連携を工夫し、きめ細かな地域事業を展開しつつ、分館制度の見直しを行う。

（2）知と情報のステーションとしての図書館サービス網の再構築

- ・現行の6分室を、機能を充実させた「分室」と、身近な「図書サービスコーナー」に再構築し、市内3つのゾーンでメリハリある図書館サービスを展開する。
- ・図書館、分室、図書サービスコーナー、学校、関連機関との連携で学校支援や、ビジネス支援などを充実させる。

（3）「ふるさと君津」学習ステーションとしての博物館機能の展開

- ・久留里城址資料館は、親しみやすく観光のイメージにつながる名称変更、展示内容等の見直しをはかる。
- ・校舎跡施設のスペースを資料活用場として有効活用する。また、漁業資料館の今後の効果的・効率的なあり方を見直しをはかる。
- ・本市の文化資料や風景など、市域全体を“フィールドミュージアム”として機能させ、観光・産業等との連携を深めた事業展開をはかる。

（4）社会教育施設を長く活用するための個別施設計画の策定

- ・全ての社会教育施設の長寿命化等の個別施設計画を策定し、計画的な改修等を進める。
- ・久留里城址資料館は、耐震診断を行い、適切な耐震性を確保する。

3 今後の管理運営：市と民間の利点を活かし、地域活性に役立つ社会教育の着実な展開

- ・社会教育施設の根幹業務は市の直接の運営を継続し、部分的な委託など、引き続き業務内容に応じた効果的な運営を行う。
- ・特別なニーズに応える事業などは、民間・地域団体等との連携をさらに深める。